

## 1. 自宅での生活で注意すること

- 自身の症状（発熱、咳、呼吸困難、咽頭痛、味覚・嗅覚障害など）に注意を払う
- 頻回の手洗い、咳エチケット、高頻度接触面<sup>※1</sup>の清掃・消毒を心がける
- 家族・他の人と接する頻度を最小限にする（スマートフォンやタブレットを活用する）
- 家族・他の人と接する場合は、必ずマスクを着用する
- 重症化リスクが高い人<sup>※2</sup>との接触は、特に避ける
- 可能な限り家にいる
- 外出しななければならない場合は、他の人と2メートルの距離を保つ
- 自宅待機は、最後の新型コロナウイルスへの曝露から14日間行う

※1 高頻度接触面の例：テーブル、ドアノブ、照明スイッチ、カウンタートップ、取っ手  
机、電話、キーボード、トイレ、蛇口、シンクなど

※2 重症化リスク：高齢者、心疾患、糖尿病、高血圧、慢性肺疾患、悪性腫瘍  
慢性腎臓病、肝疾患、免疫抑制状態、高度肥満

## 2. 毎日確認すること

- 1日2回の検温を行う
- 気道症状（咳、呼吸困難、咽頭痛）、嗅覚・味覚障害の有無を確認する

## 3. 病院受診を考慮すべき状況：以下のいずれかの症状が出現した場合

- 発熱（37.5℃以上）
- 気道症状（咳、呼吸困難、咽頭痛）
- 嗅覚・味覚障害（鼻炎症状を伴わない）

## 4. 症状がでた場合の対応方法

- 病院への相談方法：原則、平日は9:00-17:00、休日は9:00-12:00に相談  
医師：平日・休日ともに感染症科医師（黒田 7415、蓮池 \*819、土井 \*518）に直接相談  
看護師：平日→看護部（302-2398）経由で感染管理室に相談、休日→当直師長経由  
その他の職種：平日・休日ともに技師長または各部署の感染担当者経由で感染管理室に相談
- 感染管理室または感染症科医師と相談し、救急外来受診のタイミングを決定  
※PCR検査希望者は、朝9:00に来院してPCR検査を施行する（土日も可能）  
※症状が軽度の場合、数日間経過をみてから、PCR検査するかどうか決定することも可
- 来院方法（救急外来）：午前9:00に救急車搬入口に集合し、テントでPCR検査を施行する  
※診察希望者や症状が強い場合は、PCR検査提出後、救急外来で診察する  
※救急外来への連絡は、感染管理室が事前に行う（受診者による救急外来への連絡は不要）
- 結果は、当日午後3時頃に、感染症科医師または所属長経由で本人に電話連絡する  
（例外：日曜日の検査結果は、月曜日午後にてです）

## 5. その他

- 症状のない濃厚接触者の濃厚接触者（家族など）の生活は、特に制約はない（通常どおりでよい）
- 症状がない濃厚接触者の洗濯は、通常どおりでよい